



2024年7月18日発行 会報第1199号

今週のプログラム

(2024年 7月18日 第1199回例会)

委員会活動方針

【クラブ奉仕・親睦・会員・情報】

山本 友亮・藤田 芳浩・山本 雅之
各委員長

次週のプログラム

(2024年 7月25日 第1200回例会)

今年度例会開催について

「プログラムの確認」

プログラム担当 藤田 芳浩会員

第1198回例会 (2024年 7月11日) の記録

<会長の時間>

高尾 修会長

先週の木曜日から、千里メイプル RC 会長としてスタート致しました。

2024-2025年度、国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック氏の RI 会長テーマは、「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです」と述べられておられます。

後ほど、会長方針の中で2660地区ビジョン・地区の年次目標をお話させていただきますので
よろしくお願い致します。

現在のロータリークラブは世界的にも日本でも、会員数が大きく減少しており、ロータリークラブのあるべき姿や、ロータリアンの資格等も大きく変遷しております。

クラブの活性化のため、今なにができるかを考えて会員の皆様と歩みたいと考えています。

本日の例会は、お昼しか出席出来ない会員様のために変更して開催しています。

まず、例会に出来るだけ出席して頂いて会員同士が今まで以上に仲良く会話を楽しみ、交流を図ることが大切です。

奉仕活動は、関西医科大学看護学科教授 山本加奈子先生の「ラオスへの保健衛生支援」

「子ども食堂」をこれからも継続したいと考えます。

2024年6月13日には山本加奈子先生より、能登支援のお話を聞きました。

千里メイプル RC に出来る事はないか検討したいと考えます。

従来からの奉仕活動を進めながら、新たに会員一同が参加できる奉仕活動にも積極的に取り組んで
みましょう。この1年は千里メイプル RC にとりまして大変重要な年になります。

「今まで以上に、会員間の好意と友情を深めましょう」

「今まで以上に、会員皆様の一人一人が、今クラブにできる事をしましょう」

「明るくて、仲良くて、楽しい声が聞こえるクラブを作りましょう」

この1年間、何卒よろしくお願い致します。

<お客様> な し

<出席報告>

水本 徹 SAA

会員数 17 名 (内出席免除会員 1 名)

本日の出席者数 11 名

(内出席免除会員 0 名・名誉会員 0 名)

本日の出席率 68.75%

*今年度から昼例会(12:00～)では
会場の都合により ロータリーソング歌唱
及びピアノ演奏をすることができなく
なりました。
ル・ジャルダンの夜例会(18:30～)での演奏を
お楽しみ下さい♪♪♪

<寄付表彰>米山功労者 (第 11 回) メジャードナー

藤田 芳浩会員



<幹事報告>

藤田 芳浩 幹事

1. 高槻西 RC の近藤 眞道会員 令和 6 年 7 月 2 日ご逝去のお知らせを回覧致します。

本葬儀・告別式

▫日時：令和 6 年 9 月 2 日 (月) 午後 1 時～3 時

▫会場：高槻セレマホール 高槻市古曽部町 2 丁目 17-8 TEL:072-682-1121

2. 本日例会終了後、理事会を開催致します。



<SAA報告>

高田 宗慶 SAA 補助

※ニコニコ奉仕金

なし

※ラオス基金

水島会員

ラオスに梅雨はなし。

※ロータリー財団

高尾会員

江坂レストランでの例会を楽しみましょう。

相原会員

コメントなし

※米山記念奨学会

高尾会員

江坂レストランの皆様、1年間よろしくお願ひ致します。

山本雅之会員

コメントなし

※メイプル基金

藤田会員

本日「昼例会」皆様宜しくお願ひします！！

水本会員

阪神・オリックス ようやく上昇機運かな？

山本友亮会員

第1回の昼例会、楽しみです。

小山会員

コメントなし

岸上会員

コメントなし



2024-2025年度に向けて

RIテーマ「ロータリーのマジック」

千里メイプル ロータリークラブ会長 高尾 修

2024-2025年度、国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック氏は、次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです」と述べられておられます。

またアーチック氏は、平和優先するとし「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を2025年に開催する予定になっています。

継続と変化のバランスとして、地区内のクラブ活動が活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ていると指摘されています。

国際ロータリー2660地区ビジョン

- ① 持続可能な良い変化を生むために、多様性を重んじ、あらゆる側面で公平さを促進し、異なる考えや価値観を持つ人々による貢献を大切に、DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」を実現します。
- ② RIテーマを理解し、地域の特性にあった活動を通じて、それぞれが「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになることを目指します。
- ③ ロータリーの原点である親睦と奉仕を根幹とし、世界及び地域社会で良い変化を生み出します。
- ④ 世界の未来を担う青少年の活動を支援し、若きリーダーの育成に努めます。

2024—2025年度 地区の年次目標

① 「より大きなインパクトをもたらす」の目標

- ・世界ポリオディにおいて、ロータリーファミリーが一体となり、ポリオ根絶とローターアクトクラブの自立を目指すイベントを実施。
- ・すべてのクラブによる財団補助金活動を推進します。
(特に能登半島地震への復旧・復興支援、平和の行進)
- ・財団寄付目標(財団基金寄付\$150、ポリオ+基金寄付\$50、恒久基金寄付\$30を達成し、衛星クラブ等からの寄付を増進します。
 - ・ローターアクトクラブは、クラブまたは個人からの財団寄付\$100達成します。
 - ・ニーズに合う奉仕がインパクトの大きな成果につながる事を確認します。

② 「参加者の基盤を広げる」の目標

- ・多様なクラブを広めます。
- ・クラブが自身の文化を大切にしつつ、変化に挑戦できるように支援します。

③ 「参加者の積極的なかわりを促す」の目標

- ・あらゆる行事を学びの機会とし、会員の参加促進めざします。
- ・DEIへのコミットメント、特にインクルージョンを強化します。
- ・米山記念奨学会を支援します(ロータリアンは寄付目標30,000円)。
- ・全クラブのクラブ優秀賞(旧ロータリー賞)受賞をめざします。

④ 「適応力を高める」の目標

- ・四つのテストで物事を考え、適応力を高めます。
- ・地区チームのDEIを進めます。
- ・すべてのクラブ会員がMy Rotaryに登録し、活用できるように推進します。

以上のように 2024—2025年度2660地区 大橋秀典ガバナーは提唱されておられます。

2024—2025年度の奉仕につきましては、従来から行っております「ラオス農村部における保健衛生支援」・「子ども食堂」は継続したいと思っています。

また、能登半島地震の復旧・復興支援でなにか出来る事はないか会員の皆様と考えてみます。

千里メイプルRCは、会員一同が参加できる奉仕活動も積極的に取り入れてみたいと思っています。クラブの改革の1年になりますが、会員一同が真摯に向き合い笑いの溢れた例会や友情を深める例会を開催したいと思っています。